人・もの・ことの“つながり”を大事に

共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください

令和７年６月６日発行
第５号
中信教育事務所

過去の「共に歩まん」はこちら→

←過去の「マナビィ通信」はこちら

共に学ぶ　「子供と共に学び続ける存在でありたい！」思いや願いの実現に向けて　～第１回授業力アップ講座～

第１回授業力アップ講座では，授業改善に積極的に取り組む先生方が，仲間と共に「探究する授業づくり・学級づくり」についての悩みについて語り合ったり，授業を構想したりしました。

参加された先生の声

授業での工夫や似ている悩みを持つ先生方同士で「たしかに」とうなづける瞬間がいくつもあり，これからの励みになった。

学習問題と学習課題が据わる時点で，**子供が取り残されないよう，何を学び，どこに注目するか**が分かりやすい授業を心掛け，明日からの授業づくりに取り組んでいきたい。

「探究」というものが何なのかあやふやでしたが，少しずつ見えてきた。

・可能であればグループワークをもっと長くやりたいです。
・ブレインストーミングやホワイトボードへの記入などで，個々の発言を見える化できるといいなぁと思った。

共に創りあげていきましょう

・学級づくりは**子供と先生が同じ方向を目指すことが土台にある**ことが重要だと理解できた。
・大人数の学級づくりについて大規模校の先生から**雰囲気や様子をつかむこと**ができた。
・「僕はこれを学びたい！」「私はこれを深めたい！」と生徒が主体的になれるように，**問いが生まれる場面づくり（出会い）**を大切にした授業づくりを心掛けていきたい。
・英語における生徒との対話場面で，**その説明は本当に必要なのか**「説明を聞く」ということが，目的，場面，状況と照らし合わせてみて，重要な位置づけにあるかを考えたい。
・子供が**運動の面白さを感じられること**を意識しながら，実践を重ねていきたいと感じることができた。
・子供に「あれ？」「追究してみたい」と思ってもらえるためには，**「ずれ」を作ること**が大切だと思った。
・図工の授業でも子供たちの**「何で？」という気持ちを持たせる**ことから始めたい。
・子供に**一石を投じる質問**が重要だということを知ることができた。次の道徳では子供たちが考えられるような質問を投げ，揺さぶってみようと思った。

仲間や指導主事と話すことで，自分の授業や学級づくりを振り返り，自分の考えが更新されていくことを実感していました。感じた手応えをもとに今後の取組を明確にしました。

普段感じている悩みや不安を解決したい先生方，一人教科の先生方，臨時的任用の先生方，一緒に授業づくりや学級づくりについて考えてみませんか？
次回は，７月３日（木）
第３回は，11月11日（火）です。
多くの先生方のご参加をお待ちしています！

皆さんの授業の工夫も聞きたいなぁ